

知って備える 防災メモ

第60回



複数の手段で災害の情報を入手しましょう

外出しているときや自宅にいるときなど、状況によって情報を入手できる手段は異なります。

そのため、市は、ラジオ放送や電子メール、市内62カ所に設置されている屋外スピーカーによる情報発信のほか、避難所開設時などは、市の広報車や登別市連合町内会の連絡網を活用するなど、複数の手段で災害に関する情報を伝達しています。

災害から身を守るため、日頃から複数の手段で災害情報を得るようにし、いざというとき、なるべく早く情報を入手できるようにしましょう。

○情報収集手段の例

- ・屋外スピーカーからの音声放送やサイレン



- ・Jアラート(全国瞬時警報システム) 作動時など緊急時に行う、FMラジオ局



- ・『FMびゅう』への割り込み放送
- ・市の広報車による広報
- ・市や気象庁などのウェブサイトで
- ・携帯電話に配信される『緊急速報メール』

- ・市が配信する登録制メールアドレス

登録制メールアドレスの一本化

市は、災害の情報を、『登別市防災メール』、『登別市防災情報』、『ぼうさい西いぶり情報メール』の3種類の登録制メールアドレスで配信してきましたが、4月以降は、Jアラートと連動して情報を発信できる登別市防災メールに集約し、配信します。登別市防災メールに登録していない方は、ぜひご登録ください。

○登別市防災メールの登録方法

- ・パソコンで登録する方…専用ウェブサイトを (<https://service.sugumai.com/noboribetsu/member>) からEメールを送信
- ・携帯電話で登録する方…二次元バーコードを読み取るか、専用ウェブサイトを (<https://service.sugumai.com/noboribetsu>) からEメールを送信



▼問い合わせ

総務グループ

(☎⁸⁵1130)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

山の幸染め会

『山の幸染め会』は、平成11年に結成されたサークルです。現在、会員は70代から80代までの女性6人。毎月第4土曜日の9時30分から正午まで婦人センターで、染め物を楽しむ活動を続けています。

「ストールや眼鏡拭きなどの実用的な小物に、花や葉っぱの模様や輪郭を染め付けて、暮らしの中で自然の彩りを楽しむことができます」と話すのは、代表の永森敬子(ながもりけいこ)さん。

「染料となる色の付いたマットとアイロンがあれば、簡単に染めることができます。あとは、好きな形に染まるよう、自分の気に入った花や葉っぱを見つけて使用したり、切り絵やちぎり



▲手先を器用に使いながら、作業を進める会員

絵などを制作して利用したりしています」と手軽に身近なものに染めることができる楽しさについて、永森さんは語ってくれました。

3年ほど前、市民文化祭で展示されていた同会の作品を見て入会を決めたという宇山美栄子(うやまみさね)さんは「葉っぱの模様がきれいに染まっている、一体どのようにして染めているのか、興味がありませんでした。今では、葉っぱや草を見たときに、染め物に使えないか考えるようになり、素材を集めることの楽しみも感じています」と日常生活の楽しみが増えたことを笑顔で話してくれました。

入会を希望する方や体験をしてみたいなど、興味のある方は、永森さん(☎⁸³2391)まで。

暮らしの中に彩りを取り入れて、山ほどの幸せを感じませんか

